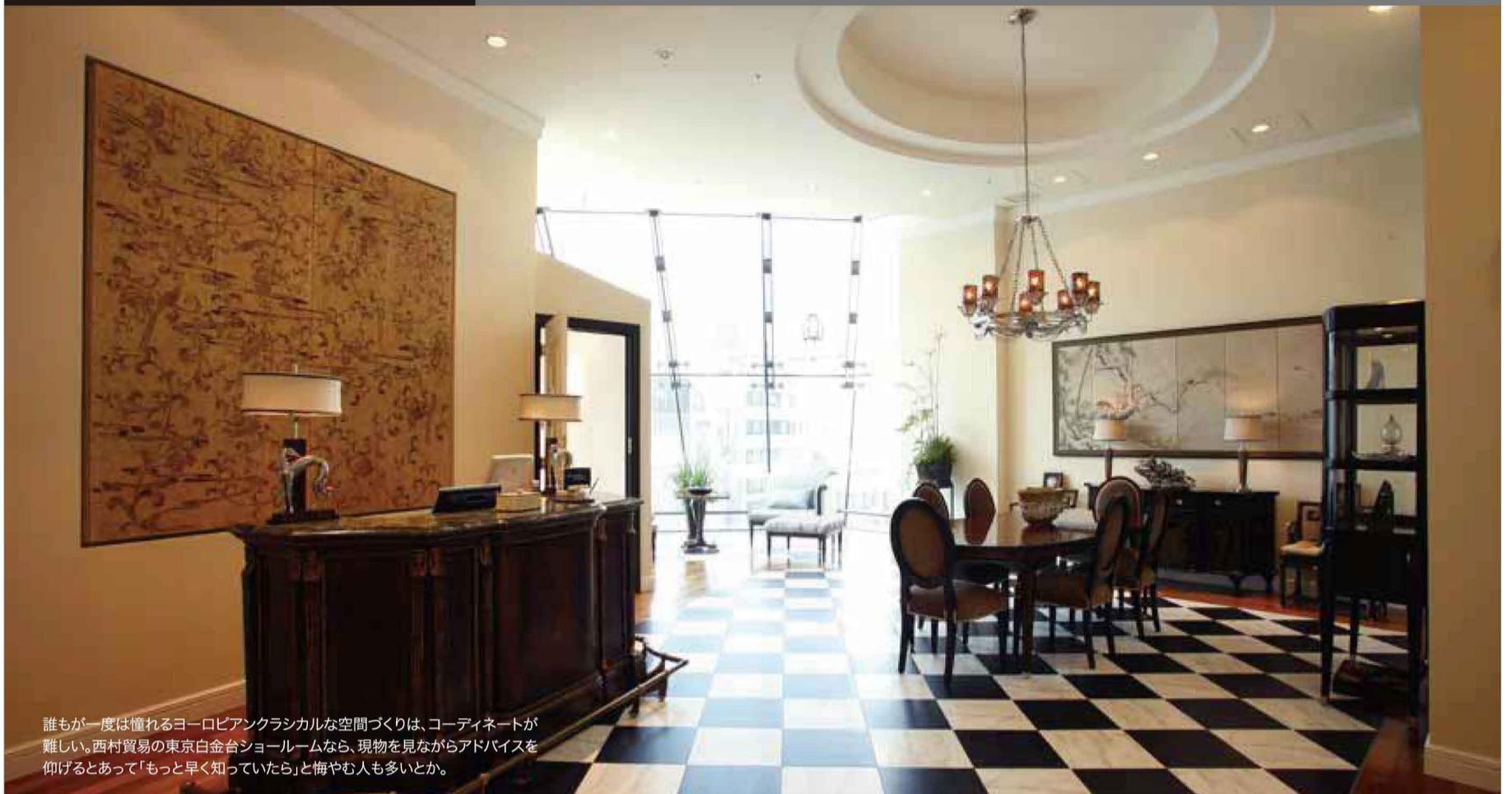


My Favorite Life Style



誰もが一度は憧れるヨーロッパクラシカルな空間づくりは、コーディネートが難しい。西村貿易の東京白金台ショールームなら、現物を見ながらアドバイスを仰げるとあって「もっと早く知っていたら」と悔やむ人も多いとか。



①

上質なインテリアを思い通りに愉しむ方法

心から満足できる
インテリアづくりは
実は意外に難しい

ついに念願の注文住宅を建てた、理想的な条件のマンションの購入を決意した。人生で最も記憶に残るシーンのひとつだが、問題はその後だ。テーブルにランプ、ライトやランプ、デスクにチェストにミラー。入居後の愉しみであるはずのインテリアづくりで悩んでしまう人は意外なほど多いのだ。

愛用品が新居に合わない、新調予定だった家具や小物もどれを選ぶべきなのか分からなくなった。そんな悩みを味わった、私たちは意外に「インテリアづくりの愉しみ」に縁遠い日常を送っていることに気付く。

が大きく変わったりするのだから、前の世界。結局、購入後に再び雑誌を開いては、「こんな部屋にしたかったのに」とため息をつくわけだ。

雑誌では分からない気品までリアルに体験できるショールーム

重要なのは、イメージを具体的な形として体感すること。そこで紹介したいのが、地下鉄「白金台」駅から徒歩すぐの場所にある「ギャラリーメイトランドスミス」だ。こちらは欧米の高級クラシカル家具やインテリアアクセサリを専門に扱う西村貿易が展開する自社ショールーム。訪ねてみるとひと目で分かるが、館内では「生活をアートにしつづける」というテーマをそのまま描き切ったような、とにかく印象的な世界が展開されている。

リアルなサイズや質感を捉えにくいインテリア製品の中でも、人気のヨーロッパクラシカル家具は特にイメージしづらいものだ。雑誌やオンラインストアを眺めるだけでは分からない。細部の表情や質感まで把握できるこのショールームは、一度は訪れるべき店としてコアなインテリアファンにはおなじみの存在。中には、すでに他社で購入した後に来店し、「もっと早く知りたかった」「買う前に来ると良かった」と悔しがる人も少なくないそうだ。

美術的な家具を
どう活かすかまで
しっかり教えてくれる場所

同社で扱う輸入家具は、米国「メイトランドスミス」をはじめ「オルソフ」「ベーカー」などの一流ブランドばかり。デザイナーの顔が見える製品がセレクトのポイントで、釘一本まで自社で製作するというこだわりの名品に出会うこともできる。品質は、言うまでもなく折り紙付きで、店内も壮観のひとつだ。

また、製品単体の販売のほか、空間プロデュースも手がけている。モダンな床に「アールデコ」の家具、さらに東洋的な調度品など、

各製品が備える様式美をセンスよくコーディネートするのは極めて難しいが、これが実現できれば愛用品と新品が混在した部屋づくりも可能になる。店頭では、部屋や家具の条件や理想とするイメージを伝えれば、その雰囲気を実現するには何をどう選べばいいのかを専門スタッフがナビゲートしてくれるので、個人はもろろん医療機関や店舗、学校などもアドバイスを求めに来るとか。クラシカルな印象のインテリアづくりを深く味わうには知識と経験が必要になりがちなので、こうした方向性を愉しみたい方には特におすすめです。

輸入家具に関する情報は氾濫気味の昨今だが、ヨーロッパやアメリカの「知る人ぞ知る製品」を実際に見比べられる場所はないか見つけないのが現状だ。白金台のショールームなら、悩みや迷いを解消して一歩先へと進めるはず。一度訪ねてみれば、新しい愉しみの世界が広がるだろう。



① カエルランプ W50×D45×H60cm
② チェアフォトフレーム W20×D18×H33cm
③ 時計 W15×D13×H28cm
④ ワニテーブル W46×D56×H94cm
⑤ ゼブラスツール W88×D45×H71cm
⑥ ブックテーブル W35×D35×H70cm

